

<p>して応募する場合、改良・改善後の製品等の販売開始時期</p>	
<p>(3) 新製品・新サービスの販売実績 ※具体的な納入先の業種や場所に加えて、累計販売数、利用者からの客観的な評価等可能な限り数値を用いて記載してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・販売・導入実績：令和5年10月の発売以来、茨城県内の大規模病院や介護老人保健施設を中心に、累計50台を販売。 ・主な顧客：県立病院、社会福祉法人、県内リハビリテーションセンター等、計15施設へ導入。 ・ユーザーの反響：導入施設への調査では、職員の搬送業務時間が1日平均25%削減されたとのデータを得ており、現場の生産性向上に寄与している。
<p>(4) 新製品・新サービスが特許、実用新案等の知的所有権に係る場合（申請中のものを含む。）は、別表にご記入ください。（健康・医療関連は厚生大臣の承認番号）</p>	
<p>(5) 新製品・新サービスの概要 ※「どのような課題」を「どのような技術」で解決するものか、開発背景を含めて記載してください。</p> <p>県内の医療・介護現場における介助者不足を背景に、利用者の「移動の自由の制限」と「介助者の搬送負担」を解消するために開発された自律走行型車いすである。従来は介助者の付き添いが必須であった施設内の移動を、AIによる空間認識技術を用いて無人化・自動化することで、利用者が「好きな時に、自らの意志で目的地へ移動できる」環境を実現した。これにより、現場の深刻な労働力不足を補完し、ケアの質の向上を支援するものである。</p>	
<p>(6) 対象期間（概ね5年）以前に既存の製品があり、対象期間内に大きな改良・改善した新製品・新サービスとして応募する場合、改良・改善部分について、ご記入ください。（該当のある場合のみ記入） ※何が「革新的」な変更点なのか、従来比（%等）を用いて具体的に記載してください。</p>	
<p>令和4年発売の旧モデルは「あらかじめ設定されたルートの走行」に限定されていたが、本申請モデルでは最新のSLAM技術（地図作成と自己位置推定の同時実行）を実装した。これにより、専門技術者による事前の地図登録を不要とし、電源を入れるだけで即座に現場の環境を学習・走行できる仕組みを構築した。従来比で導入コストを約30%削減し、導入までの準備期間を5日から即日に短縮する大幅な機能改善を行った。</p>	
<p>(7) 新製品・新サービスの特長、アピールポイント ※各項目について、具体的かつ可能な限り数値を用いて記載してください。</p>	
<p>○革新性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「操作」から「目的地指定」への変革：一般的な電動車いすは利用者の手動操作（ジョイスティック等）を前提とするが、本製品は目的地を音声やパネルで指示するだけで、障害物を自律的に回避し走行する。これは、身体機能に制限のある方でも一人で安全に移動できるという、移動支援におけるパラダイムシフトを実現したものである。 ・動体予測回避アルゴリズム：業界で初めて「歩行者の動作予測技術」を採用。単に障害物を避けるだけでなく、人の流れを予測して先回りして回避ルートを選択することで、混雑した病院ロビー等 	

の環境下でも、歩行者の流れを止めないスムーズな移動を可能にした。

○市場性

- ・ **ニーズの裏付けと強み**：高齢化率が上昇する本県において、大規模施設からの需要は極めて高く、発売初年度から目標比 1.5 倍の注文を得ている。
- ・ **競合優位性**：海外製の配送ロボット等と比較し、日本の施設基準に適した「全幅 70cm」のコンパクト設計と、県内企業ならではの迅速なアフターサポート体制を強みとして、高い顧客満足度を獲得している。今後は医療分野に加え、県内の大型商業施設や空港等への横展開を計画しており、2030 年までに年間売上〇〇億円を目指す。

○技術的優位性

- ・ **高度な安全性能の実証**：4 基の LiDAR（レーザーセンサー）と AI を統合し、死角からの飛び出しに対しても 0.5 秒以内に安全停止する制御技術を確立した。これは国際的な安全規格（ISO 13482）に準拠した試験で実証済みである。
- ・ **悪環境下での認識精度**：窓際の日差しや鏡面が多いリハビリ室など、従来のロボットが自己位置を見失いやすい悪条件下でも、誤差 3cm 以内を維持する独自の空間認識センサーを搭載しており、他社製品に対し圧倒的な安定性を有している。

○県内経済への貢献性

- ・ **県内サプライチェーンの構築**：主要駆動ユニットは〇〇市の「A 社」、車体フレームは△△市の「B 社」に委託。製造原価の約 75%を県内企業へ発注しており、本県の基幹産業である製造業の活性化に寄与している。
- ・ **地域課題の解決と雇用**：介助者の搬送負担を軽減することで、県内介護現場の離職防止と就業環境改善に直接的に貢献している。また、事業拡大に伴い、県内から新たに技術職 3 名を正規雇用し、若手エンジニアの定着にも取り組んでいる。

○その他（自由に記載してください）

- ・ 年間〇〇台販売されており・・・
- ・ 本製品は、開発段階から県内の介護現場の声を反映させ、実証実験を繰り返して完成させた「茨城発」のイノベーションである。本アワードへの応募を契機に、このスマート移動技術を県内全域、さらには全国・世界へと発信し、「課題解決先進県・いばらき」の認知度向上に貢献したいと考えている。

<評価基準>

①革新性

他には見られないような革新的・独創的な特長のある新製品・新サービスであるか、或いは、従来の新製品・新サービスとは変革を成すものか。

②市場性

販売実績や市場規模、ターゲットとなる市場の需要はどの程度あるか。

③技術的優位性

他の製品・サービスと比較して性能、品質面において優秀であるか。使用する技術は、具体的な根拠に基づいているものか。

④県内経済への貢献性

県内に本社や新製品・新サービスの生産拠点があるか。県内雇用や県内企業との連携など、県内の経済にどの程度貢献するか。

3 その他

(1) 今回応募した新製品・新サービスについて、過去に他の団体等から受けた受賞歴等があればご記入ください。
・〇〇大賞・・・
(2) 今回応募した新製品・新サービスについて、助成・ベンチャーファンド等からの出資の実績があればご記入ください。
・〇〇ファンド・・・
(3) 今後、新製品・新サービスにおいて、協力してほしいことがあればご記入ください。
・海外への販路開拓・・・

4 記入条件

- ・応募書は文字サイズ 10.5 P t 以上、項目 3（その他）までを、片面 4 枚以内でご記入ください（別表を除く）。
- ・書き方は箇条書きでも構いません。
- ・郵送の場合は白黒コピー・カラーコピーのどちらでも構いません。

5 添付資料

新製品・新サービスの既存のカタログ・パンフレット

※カタログ・パンフレットがない場合は、写真等を活用した説明資料（10.5 P t 以上、A4 版両面 3 枚程度）

6 応募上の注意

- ・提出いただいた書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・受賞者の発表後に虚偽の事実等が発生した場合には、審査結果を取り消す場合があります。
- ・審査内容、審査結果に対する個別の問い合わせには応じられません。
- ・審査結果に対する異議申し立て等は受け付けません。
- ・対象期間内に大きな改良・改善した新製品・新サービスとして応募する場合、改良・改善部分について審査します。
- ・ご記入いただいた個人情報は、本アワードの運営と関連事業（本アワードの PR 等）の実施のために利用しますので、法令に定めのある場合やご本人が同意している場合を除き、目的外利用することや第三者に提供することはありません。

(別表)

新製品・新サービスについて、特許、実用新案等の知的所有権に係る場合、下記をご記入ください。

①特許（出願）等番号
②特許等の名称
③応募案件における特許等の使用箇所
④許権者（出願者）及び発明者（開発担当者）の所属及び氏名
⑤共同出願者の所属及び氏名